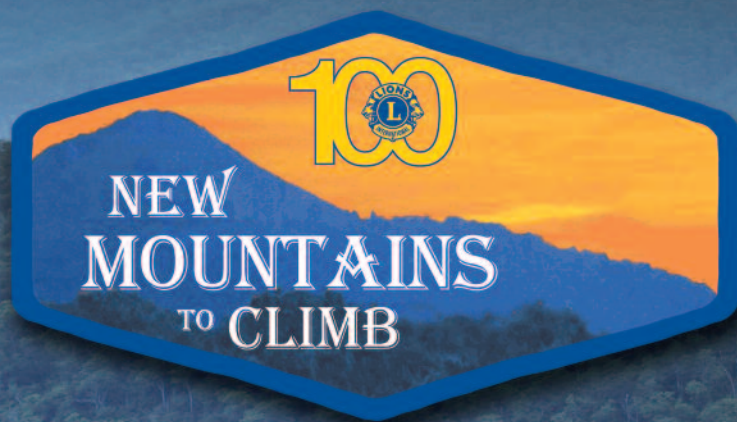


ライオンズクラブ国際協会
2016～2017年度国際会長テーマ

INTERNATIONAL PRESIDENT

CHANCELLOR
BOB CORLEW



国際会長 ボブ・コーリュー
「次なる山を目指して」

次なる山 を目指して

私の故郷、テネシーはさまざまな景色と音に溢れています。州の遥か西には雄大なミシシッピ川の流れる音、テネシー中部には農業と産業の音、テネシー東部にはアパラチア山脈の野生の音が響きます。そのすべてが、アメリカ南部の温かなもてなしの心を表す、特徴的な音です。テネシー北西部を流れるミシシッピ川の水の音と、そこから南下したメンフィスのビールストリートから聞こえてくる物哀しいブルースは、西テネシー独特の風情を感じさせてくれます。

そこから東の州中央部へ移動すると、比較的平坦な土地がなだらかな丘陵に変わります。カントリー音楽を育んだ、この地域特有の地形です。バンジョーやギター、マンドリンの音色は、ナッシュビルを取り囲む山々に古くから響き渡り、テネシー山間部に住む多くの農夫たちに夢を与えてきました。

「プリンターズ・アレイ」と「ミュージック・ロウ」と呼ばれる音楽街はよく知られており、この土地がアメリカきっての「音楽の町」と言われる所以となっています。さらに東、ノックスビルと輸送都市チャタヌーガへ移ると、農村の音は産業の音へと変わります。無秩序に広がるこれらの都市のすぐ東からは、東テネシーに見渡す限りそびえ立つグレートスモーキー山脈の丘陵地帯が始まります。

手つかずの自然が広がるのどかな片田舎に行くと、ウズラの「ボブ・ボブ・ホワイト」という鳴き声だけが一日中響いています。

夕方になり、山に日が落ちると、今度は遠くからホイッパーウィルと呼ばれる夜鷹の淋しげな鳴き声や、コヨーテの遠吠えが聞こえてきます。小さな集落のそばでは、バンジョーやギター、フィドルの音がこだまのように響き渡り、郷愁を誘います。夏が過ぎ、秋が来れば、原生の楓、ユリノキ、樺、セイヨウトネリコ、栗の木、槲、ヒッコリーなどの木々が、丘や山々を、赤、オレンジ、黄色の極彩色に染め

ます。秋が冬に変われば、落ち葉は一面の雪へと姿を変え、そこから点々と顔をのぞかせるのはすっかり葉の落ちた樹の幹と、青々と茂るスギだけです。

私の家の近くにある丘や山々は、他にはない環境を作り上げています。グレートスモーキー山脈が作った自然の垣根は、何世代にもわたり、独特の訛りと、土地ならではの料理、そしてストーリーテリング（物語り）の伝統を育みました。私は、自分のプライバシーを非常に大事にする家系に育ちました。私の祖先は、テネシーの美しい景色に囲まれた山の上や谷間に家を立てました。そうすることで、他の州から、



国際会長
ボブ・コーリュー

そして当時のアメリカで主流とされていた生活様式から、隔絶した生活をしていたのです。こうした孤立が、この地域の開拓者に独立精神を与えました。こうした山間部の集落の孤独は、はからずも、人のまばらなこの地の住民の間に強い結束をもたらす結果となったのです。助け合いの性質が元になり、隣人が隣人を助け、見知らぬ者が見知らぬ者を助けるという伝統に発展しました。「ボランティア（進んで手を差し伸べる）」の伝統があまりに根強く浸透していたため、1800年代初期、独立して

間もないアメリカ合衆国の平和が脅かされそうになった時、今のテネシーに当たる地域の大勢の開拓者たちが、同胞のために義勇兵として立ち上がりました。テネシーが後世まで「ボランティア・ステート（志願兵の州）」と呼ばれるようになった所以です。

そのボランティア精神は、今もテネシーに息づいています。「人が人を助ける」は、今日も多くの人を言い表す形容詞となっています。テネシーの道で誰かにすれ違ったら、ほぼ間違いなく、明るい「おはよう」の挨拶、もっと小さな町なら「やあ、調子はどうだい」の声をかけられることでしょう。また、州内の小さな村で車を運転すれば、対向車は皆フレンドリーに手を振って挨拶してくれるはずです。

時代は変わり、新しいテクノロジーが古い伝統に取って代わっても、テネシーならではの

古きよき親切心は変わることがありません。しかし、時代の変化に伴い、新たな課題が出てきました。新しい、これまでにない奉仕の機会が出現したのです。惜しみなく与える者たちが活躍する新たなチャンスです。現代においても、テネシー人の心には古いボランティア精神が生き続けています。

私が少年時代にテネシーで身につけたこの伝統と、多くの困難を乗り越えて山中での生活を切り拓いた先人たちの遺した独立心が、「次なる山を目指して」を私の会長テーマとするきっかけとなりました。

登山は、人々が日々直面するさまざまな場面を表しています。取り組むのに最大限の努力を要する、困難で険しい課題を示しています。しかし、こうした山を乗り越えてこそ、私たちは最大限に成長できます。一つひとつの山が、新しいチャレンジ、新しいチャンスを表しています。

私たちの住む世界が絶えず変化するにつれ、新たな課題、すなわち他者に奉仕する新たなチャンスが訪れます。失明、はしか、その他の健康問題、食料不安、飲水の不足、戦争、社会不安…これらはすべて、世界中の無数の人に影響している問題です。しかしそれは同時に、ライオンズが世界をより住みよい場所にしていこうと取り組む上でのチャンスとも言えます。ライオンズはこれからも、奉仕の新しい手段を

見つけながら、上を目指し続けなければなりません。山の一つひとつがライオンズに新しい機会を提供し、その山に挑むことで私たちは他の誰かのために世界を良くするチャンスを得るのです。

地域奉仕の100年の節目に際し、私たちは過去に敬意を払いつつ、現在を見つめますが、計画を立てて築きははじめなければならないのは協会の未来です。私たちの未来は輝いています。しかし、次なる山を乗り越えようとするならば、後に続く次世代のライオンズたちに道を示し、奉仕の伝統を守るため、眼前に進むべき道を整えなければなりません。





奉仕の頂点を 極める

山頂に達するのは、旅の終わりではありません。新たな旅の始まりです。新たなチャンスです。

奉仕を通して導く。それこそが、われわれの強みです。ライオンズは、ボランティア活動がもたらす成果と、奉仕者が地域にもたらす価値とを、その目で見てきた地域のリーダーの集まりです。

私たちは、ライオンズクラブ国際協会が提供する奉仕活動とプログラムを常に見直し続け、協会の総合的なビジョンのもとに、奉仕プログラムが協会の目的に沿ったものとなっていること、そしてその結果として、会員が増え、会員のクラブでの満足度が増し、より有意義なパートナーシップの実現と、一般社会における認識の高揚につながっていることを確かめなくてはなりません。究極的には、ライオンズがこれからも奉仕を通して導き、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての地位を確固たるものにしていくべきなのです。

ライオンズは、世界各地の地域社会の健康と福祉に対し、多大な影響力を持っています。ライオンズが日々の生活に影響を与えている様々な場面を考えてみてください。

- **環境** - ライオンズは、町内、道路、公園、河川、緑地、水辺などの美化に取り組み、皆が安心して使えるようにしています。
- **青少年** - ライオンズは、時には個人指導員、時には教師、時にはメンター、時にはコーチとなって、算数の宿題から、人生の悩み、サッカー大会まで、あらゆる場面で若者を支えています。
- **飢餓** - ライオンズは独自に、または他の機関との協力を通じて、食料問題に取り組んでいます。
- **視力** - 予防可能な失明と闘い、目の不自由な人たちが必要とするサービスを提供するため、ライオンズは様々なレベルで努力しています。

ライオンズは、世界中の地域社会の重要なパートナーであり、かつ当事者です。

考えてみてください。私たちの住む地域にライオンズクラブがなかったら、どうなっていたでしょうか？

町や、公園、学校、図書館はどんな姿になっていたでしょう？ どういった基本的なニーズが見過ごされることになったでしょう？ 社会として成長し、学び、発展していくための、どんな機会が失われていたでしょう？ 想像しがたく、考えにくい世界です。

幸い、ライオンズクラブのない世界を想像する必要はありません。100年間にわたり、ライオンズの奉仕の影響範囲は、メルビン・ジョーンズが予想だにしなかった発展を遂げてきました。

ライオンズはこれからも、私たちを定義づける二語 - 私たちの存在理由であり本質そのものを表す言葉 - 「ウィ・サーブ」を忠実に守り続けます。そして、ライオンズは他者に尽くすための新たなチャレンジと新たな機会に挑みます。高すぎる山はありません。

2014年のトロント国際大会にて100周年記念期間がスタートした時、私たちはライオンズに次なる山への挑戦を呼びかけました。2018年6月30日までに青少年、視力、食料支援、環境の4分野で合わせて1億人以上の人に奉仕するという挑戦です。ライオンズは、ライオンズらしく、情熱と決意とをもって応答してくれました。最初のわずか1年で、私たちは目標の3分の1以上を達成したのです。そして、100周年記念奉仕チャレンジの2年目を終えようとする今、3分の2をはるかに超え、目標突破に向けて順調に進んでいます。



しかし、ここで休んではいけません。大小問わずクラブが活動するどんな地域でも、100周年記念レガシー・プロジェクトを行う機会があります。世界中のライオンズがこの新しい挑戦を受けて立ち、ライオンズの素晴らしい活動と、創立100年目にわれわれが登頂した山々を、会員と地域住民にいつまでも思い出させてくれる永続的な遺産（レガシー）を築き上げています。それは、子供たちが遊べる公園や、若者たちが競い合う運動場、生徒たちが学ぶ学校かもしれません。必要な人にサービスを提供する眼科センター、病気が人が治療を受けられる病院、樹木が育ち環境が保護される森林、お年寄りが学び楽しめる図書館かもしれません。あるいは、奉仕の使命を思い起こさせてくれる彫像、時計塔、または看板かもしれません。世界中のライオンズが今、レガシー・プロジェクトの実施によって満たされるニーズに目を向けています。その山は高く、頂上はまだ見えません。実現しようとする目的にたどり着くためには、根気が必要です。しかし、私たちはライオンズです。休まずに頂点を目指します！



地域社会と つながる

ライオンズ非会員のフォーカスグループを対象とする調査で、ライオンズのロゴは非営利団体の中でも最も広く認識されている標識の一つであることが分かっています。ロゴを見る人は、地域奉仕を連想します。

地域のニーズに応える奉仕をすることで、特別なつながりと、いつまでも続く絆が生まれます。私たちは、20,000以上のクラブによるレガシー・プロジェクトへの参加を目標としています。右に挙げられている事業例に示されるレベル1、2、3のいずれを選ぶにせよ、必ず事業の固定部分にライオンズのロゴを目立つ形で表示してください。また、100周年記念奉仕チャレンジ事業と同様に、事業の報告を忘れずに行ってください。



LACEY MIDDAY
2ND & 4TH WEDNESDAY NOON
PANORAMA CITY RESTAURANT





レベル1

地域社会での知名度アップ

- 新しい看板
- 記念時計塔や地域に関連する彫像
- 地域のベンチ
- 駐輪スタンド
- 東屋やピクニックエリア



レベル2

もう少し規模の大きい貢献

- 新しい遊具や障害者向けの補助設備を設置することで公園や遊び場を改修する
- 地域の既存の施設にバリアフリー設備を寄贈する
- 満たされていないニーズに対応するため病院の設備を整える
- 学校に衛生インフラや浄水システムを設置する
- 歩道橋を建設して交通量の多い交差点を安全にする



レベル3

地域社会の暮らしを向上するための恒久的な事業

- 診療所や図書館、学校を設置または拡大する
- ホスピスや病院に「ライオンズ・ルーム」を作る
- 視覚障害者センターに技術ラボを設置する
- 失業中の若者や障害者向けに職業訓練施設をたてる
- 地域社会に新しい公園や遊び場、プールを作る

リーダーシップの育成は、奉仕の次世紀に突入しても、時代にマッチした、活力にあふれる組織であり続けるための手段です。

次なる山を
越えるための
リーダーシップ



リーダーシップとは、ビジョンであり、知識であり、原動力であり、自信であり、前向きさであり、受容力であり、人間味であり、思いやりです。ひたむきさと、自負心と、達成をもたらす、方向性であり指針です。リーダーシップとは、人が持つ最大限の力を呼び起こし、引き出すために必要不可欠なものです。目標を達成しようと相手に思わせるような影響とモチベーションを与え、組織が結束し一致団結するような方向に導いていくプロセスです。

リーダーと呼ばれる人は、人々を啓発し、個人や集団に対して情熱と方向性を与えなければなりません。

リーダーシップとはつまところ、
人々を触発し、力づけ、熱意を持たせる
能力 — 人々を導き動かす能力 — 人々の
心を共通の目標に向かわせ、望み通りの結果を得る能力のことなのです。

最近の研究で、若い世代は他人のニーズを満たすためだけでなく、自分自身の成長のためにボランティアを行うことが分かりました。私たちが提供する研修や講座、そしてライオンズクラブの会員として得られるリーダーとしての実践的な経験によって、ライオンズのメンバーは皆、他者によりよい奉仕をすると同時に人間として成長する機会を得ます。

リーダーシップ育成はまた、他者とコミュニケーションを取り、モチベーションを与え、導き、情熱を与える方法を学ぶことによって、自分自身とほかの人の感情にうまく対処する方法を理解する効果的な手段でもあります。

増え続ける奉仕へのニーズに応えるためには、効果的かつ効率的にそれを行う必要があります。それを可能にするのが、優れたリーダーの存在です。強力な奉仕＝強力なクラブであり、強力なクラブ＝会員の誇り、積極性、情熱なのです。

同じく重要なのは、リーダーシップの育成が、奉仕の次世紀に突入しても、時代にマッチした、活力にあふれる組織であり続けるための手段であるという点です。100年祭を祝うに当たり、われわれは未来に向けて計画を立てなければなりません。引き継ぎを念頭に置き、長期に渡りわれわれを導き支えることのできる、知識と、能力と、情熱と、先進的な考えを持ち併せたライオンズリーダーを、十分に確保しておくことが重要となります。

山の頂上を目指すのであれば、適切な道具が必要です。同様に、優れたリーダーになるためにも正しいツールが必要となります。ライオンズのリーダーシップ育成における各種プログラムや、ツール、資料によって、世界何千人というライオンズがスキルを磨き、課題にうまく対応するだけでなく、未然に防ぐ技術をも身につけてきました。会場で行う研修でも、オンラインでの研修でも、好みに合ったトレーニングを受けることが可能です。国際協会とGLTが用意する幅広い研修と育成のチャンスを利用することで、さらなる高みを目指すことをお勧めします。



新会員の招請で インパクトを高め チームを築く

ライオンズクラブ国際協会は多くのチームによって成り立っています。クラブ、ゾーン、リジョン、地区、複合地区、地区ガバナー・チーム、グローバル指導力育成チーム、グローバル会員増強チーム、国際理事、執行役員、本部スタッフ等々、全員が、他者への奉仕を充実させるという共通の目標に向かって力を合わせています。

成功しているチームが共通して大事にしているものには、大きく分けて二種類があります。それは、次の二つです。

- 1) 目標を達成すること、または使命を遂行すること
- 2) 一つのチームとして互いに関わること

一つ目の種類には以下のようなものがあります。

- 役割 - それぞれのチームメンバーにしかできない働きと限界をよく理解し、明確な分業を行います。登山では、新しいルートを見極めるのが得意な人、ロープの設置が上手な人、先頭でロープをリードする人などがいます。
- 共通の目標 - チームの目標は、個人の目標よりも重要です。たとえば、登山チームのメンバーは、単に登山者個人としてではなく、チームとして一緒に山頂に到達したいという気持ちを共有しています。
- チームの自信 - チームは、自分たちならできると信じています。

そして2種類目の、個人間の力学に関する価値観には以下のものがあります。

- 信頼 - チームメンバー同士が、相手なら期待通りにやってくれると信じています。つまり、互いの行動に一貫性を認めているということです。登山では、ザイルを結んだのが自分ではなくパートナーであっても、安全に繋いであると信用し、互いをビレーして身体を預けます。
- 相互理解 - 登山パーティのメンバーは、誰かが登山を続けるには体が弱りすぎている、あるいは精神的に疲れすぎている時にすぐ気が付けるよう、お互いの精神状態や、欲求、個人的な問題などを把握しています。

この五つの価値観こそが、チームを順調にスタートさせ、頂点に達することを可能にしてくれるものです。

一人ひとりのチームメンバーが等しく重要です。そして、全員が影響力を持っています。われわれのチームに新会員が1人加われば、奉仕



の影響を受ける人が30人増えます。つまり単純計算でいけば、会員が1,000人増えるごとに3万人の人生に影響を与えられるということです。

100周年記念期間の目標は、すべてのクラブが毎年3人の新会員を増やし、すべての地区が一つの新クラブを結成することです。これは、5%増という控えめな数字で、およそ138,000人の新会員を意味します。しかし、それによって奉仕を受ける人の数は4,100万人も増加することになるのです。

会員を増やすために入会してもらおうではありません。地域社会で高まり続けるニーズに応えるために入会してもらおうのです。



私の山と あなたの山をつなぐ



山というのは決してそれだけで孤立しているものでありません。つながっているものです。アルプス、アンデス、ヒマラヤ、そしてそう、私の故郷テネシーを貫くアパラチアのような、山脈と呼ばれる山々の連なりの一部なのです。

ライオンズもまたつながっています。奉仕を通じて、友情を通じて、そして私たちが愛情を込めて「ライオニズム」と呼ぶものを通じて。

世界中のライオンズは、インターネットを通じてこれまでにないほどにつながっています。これにより、私たちのコミュニケーション能力は向上しました。リアルタイムのやり取

りを通じ、感覚的にだけとはいえ、世界はほんの少し小さくなりました。

そして、ソーシャルメディアを使ってライオンズはこれまで以上に一般社会とつながっています。

オンライン例会を試しているクラブや、スカイプや電話会議を通じての出席を認めているクラブさえあります。ライオンズの国際役員たちも、物理的には世界の別の国のイベント会場にいながらにして、他国で集まるライオンズにスカイプやフェイスタイム等のビデオ電話でスピーチを行うことが増えてきています。



電子コミュニケーションの使い道は多岐にわたります。より幅広い、より多様な相手に情報を伝達できることなど、そのメリットもまた多くあります。時間と経費の節約にもなります。

2017年シカゴでの100周年祭の準備をする中で、本部スタッフはメルビン・ジョーンズが書いた数々の手紙をひもときました。ライオンズの創始者であるジョーンズは、まだライオンズ

クラブのない新しい地域とその近隣のライオンズに宛てて、個別に連絡を取ることに膨大な時間を費やしました。彼の手紙はライオンズを動かし、奉仕の必要な世界中の多く地域で新クラブを結成するきっかけとなりました。

私たちが未来を計画する上で、インターネットは重要な役割を占めます。ライオンズムの効率、便宜、拡大の精神にもとづき、メルビン・ジョーンズもこれを認めてくれることでしょう。

次なる山、 そしてその向こうへ

100周年記念が終わってしばらく経ち、歓声が収まり、音楽も少し静かになった頃 - ライオンズが世界をより良い場所にするという仕事を続ける上で、私たちにはまだまだ多くの課題が待ち受けていることでしょう。前進すればするほど、世界各地で高まり続ける奉仕のニーズが次々と立ち上がるでしょう。

だからこそ、私たちは前進しなければなりません。次なる山に備え続けなければなりません。そしてその一つひとつを越えていかなければならないのです。人々がわれわれを頼りにしています。

「LCIフォーワード」は、人道奉仕の範囲を著しく拡大し、現在の協会の運営体制を改善して、ライオンズの奉仕のもとに人々を一つにする新たな道を模索するために考案された戦略計画です。

LCIフォーワードの主なゴールは、年間2億人以上、つまり現在の3倍以上の人に奉仕を提供することです。

FORWARD

さらには、世界で最もよく知られるボランティア組織／ブランドを目指すと同時に、クラブ、地区、そしてライオンズ・ファミリーに最上級のサービスを提供すること、そしてライオンズの名のもとに人道奉仕活動に人々を巻き込んでいくための斬新な方法を探ることも掲げています。

戦略的な主眼は四つの分野に分かれています。

- われわれが誰であり、何をしているのかについて、世間一般のイメージを再形成し、認知度を高める
- 奉仕のインパクトと焦点を強化する
- 会員の価値を向上し、新たなマーケットへ働きかける
- クラブ、地区、組織の向上を追求する

四つすべての分野を推し進めることで得られる結果は以下のようなものです。

1. 人道的なニーズがより効果的に解決される、元気でいきいきとした地域社会
2. 会員の増加と定着率の向上。大部分のクラブの奉仕と会員が毎年増え続ける
3. ライオンズ奉仕の新しい手段
4. 世界で最もよく知られたボランティア奉仕団体としての認知度の向上

2017年のシカゴ100周年記念大会の際には、新しい主要グローバル奉仕分野を大々的に発表する予定です。これは、すべてのライオンズが受け入れ、一般社会に広く認識される、統合的な奉仕のプラットフォームとなるものです。ライオンズが、登るのを心待ちにする、新しい山なのです！

シカゴに集結する時、私たちはライオンズの過去の栄光を振り返るだけでなく、輝かしい未来を祝うことになるでしょう。

頂上からの 眺め

次なる山。次なる挑戦。次なる目標。次なる奉仕の対象。次なる新会員。次なるリーダー。

100年にわたる奉仕を振りかえる時、どんなニーズも見過ごされるべきでないというライオンズの伝統を築き、数々の山の斜面を踏みならしてこの組織を人道奉仕のグローバルリーダーたらしめる道を拓いてきた先人たちの偉業に、私たちの胸は熱くなります。

しかし、私たちの仕事はまだまだ終わりません。ある有名な登山家は、「なぜあの山に登ったのですか」と尋ねられ、ただこう答えました。「頂上に行くために」。

山の頂からは、世界は違って見えます。山頂からの眺めは、360度のパノラマという、まったく異なる風景を見せてくれます。山のとっぺんからは、後にした村里も、行く先にある町々も見渡すことができます。遥か下の谷底を流れる川も — そして、そう、次に目指すべき頂上も。

次なる山の頂上からの眺めがどんなものであるのか、私たちにはまだ分かりません。しかし、そこに辿り着かなくてはならないことは分かっています。奉仕の次のレベルを目指しながら、次世代のライオンズのための道筋を残さなければならないことを、私たちは知っています。

今こそ、次の100年に向けて、そしてライオンズクラブ国際協会の200周年に向けて、自分たちと、後に続く者たちの準備を整える時です。新たな高みへと登り続けていくこの旅に、是非加わってくださるようお願いいたします。

